

【随想】電力会社形態の根本的な変更が必要！このままじゃダメだ！
今回は理事の山本勇氏に東日本大震災と電線地中化の関係について寄稿していただきました。

発・送電の分離と電線の地中化

東日本大震災とそれに伴う津波によって原子炉を含む原子力発電所や火力発電所などが大きな損傷を受け、電力会社が電力供給義務を果たすことが難しい状況が生まれたと同時に広域にわたる大規模な放射能汚染を引き起こした。

このことがきっかけとなって国としての電力エネルギー政策、電力会社の権益、企業組織のあり方が大きな議論となっている。

我が国に限らず世界的に地球温暖化、その原因としての炭酸ガスの増加を食い止める有効な発電エネルギーとしての原子力の必要性が支持されてきたが、今回の出来事によってこの考えは根底から覆されつつある。

原子力に替わって自然エネルギーの活用が本格的に議論され始め、一応法律の裏付けも整備された。しかしながら自然エネルギーの活用は小規模分散型の発電システムであり発電会社の多様化と同時に送電システムの変更を迫ることになる。

現在のような大容量発電と一方通行的な送電システムでは小規模自然エネルギー発電とその普及にはなじまない。

現在の電力企業は大容量発電と一方通行的な送電システムを一括して保有することによって電力ビジネスの地域独占を享受しており、あらゆる機会に現状死守の姿勢を崩していない。

このためより安全で且つ持続可能な発電エネルギーの確保・普及のためには電力企業形態の根本的な変更が必要といわれており、その具体策として電力企業を発電企業と送電企業に分離することが検討されている。

これによって、多様な発電企業が生まれ、場合によっては送電企業も多様化され、送電企業もビジネス拡大競争によって多様な発電エネルギーを受け入れる事になる。先日の当 NPO 理事会では韓国における発送電の分離とそれともなう電線地中化の促進が報告された。

我が国においても、発送電の分離が実現する可能性が高まっている現在、電線地中化の促進もこの機運に乗り遅れてはならない。

山本勇



皆さんが日本の電柱・電線社会の現状について感じられていることをエッセイとして綴り、お送りください。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます。

1000～1500 文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレート(顔写真)を添えて下さい。

送付先は E-Mail: info@NPONPC.org です。 投稿をお待ちしています。

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 井上、志熊、根井、西川、西條

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第 38 号

発行日:2011 年 9 月 27 日(火)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

【理事会報告 8/31】小池百合子先生講演の東京セミナーの日時、会場決定！

■**技術開発委員会**:韓国の地中化率は 9% (日本は 2.3%)です。電力関係企業の力が強い、法整備(費用分担)が進んでいる、有事には道路を滑走路として使用する等の背景はありますが、人目につく所から行く、点字ブロックの下に地中化する、トランスを柱上に残す“セミ地中化”等効率的な地中化を進めています。他国の価値観を知り、海外でなぜ地中化が進むのかを考える必要があります。

■**世論形成委員会**:年に 4 回、12 月、2

月、5 月、6 月にセミナーを開いていくという意見が出ました。補助金制度についてもっと詳しく調査し、セミナーやメルマガで発表していくべきです。メリットのあるセミナーにしていきたい。来年の2月は国会議員の亀井静香先生に講演をお願いしたいという意見がでました。

■**事業協力委員会**:東会員の要請で、小金井市北口商店街の電柱電線がひどく、さらに近くに大型ショッピングセンターができ、さびれてきたので、地元住民に地中化について実例をあげて説明をしていく予定です。大津市の案件は進展なし。

■**東京セミナーについて**:小池先生の事務所から正式に承諾の連絡がありました。電線類地中化事業をいかに推進していくかについて、政治家としての立場でのお話しをして頂きたいという要望もあります。小池先生は電線類地中化にとっても積極的な政治家として有名です。今から講演が楽しみです！

【**会場**】大和ハウス工業(株)東京支社【**日時**】11 月 16 日(水)18:00～20:00
ぜひ、小池先生の講演を聞きにきてください！

■**大阪セミナー**:おはらい町の話や、伊勢市の担当者か赤福の社長か広報部長に話してもらったら？という案が出ています。日程は 12 月、会場はキャンパスポート大阪の予定です。



NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 (株)ジョリゾーム内 根井 井上
Mail: info@NPONPC.org <http://nponpc.org> Tel:072-653-5811 Fax: 072-653-5833

【特集】京都市役所へ突撃取材！行政は電線類地中化をどう考える！？

2011年9月8日に京都市役所建設局道路建設部道路環境整備課へ「行政の電線類地中化に対する考えについて」を取材に行ってきました。対応は同課の小峰係長様と宇野様でした。(井上事務局長、藤原事務局員)

■京都市の電線類地中化の方針はどのように作成されているのか？

「京都市の電線類地中化の方針はHPにも掲載していますが、国の方針に基づいています。国の方針は、交通の安全性の向上、バリアフリーの拡大、景観の向上、災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性向上です。それとは別に京都市独自の方針も存在しており、歴史的な建物、伝統的な祭り、世界遺産を守ることも目的としております。



京都市では5年ごとの計画を立ており、平成21年度から平成25年度までの電線類地中化の計画では、30か所が電線類地中化候補路線に挙げられています。」

■電線類地中化の問題はやはり住民の理解

「地中化を行わなくても住民は即座には普段の生活に困らないため、もっと目先の工事の方が需要あるように思うし、住民の理解を得ることが難しい。」と小峰様。「電線類地中化による経済効果の即効性はないが、災害時の減災につながる」と井上事務局長。

■京都市の電線類地中化を行う道路の選び方は点数制

京都市には電線類地中化の工事を行う路線を選ぶ基準があるそうです。それは、地中化要望のある道路を採点項目に従い点数付けし、点数の高い道路が候補に挙げられます。その採点基準は歩行経路、観光施設、文化遺産、都市景観、風致地区、緊急輸送道路、道の種類(国道か一般道路か、など)、電力需要の高さ、京都市三大祭りの歩行経路、住民の強い要望・熱意、今後の電線類地中化に繋がるか、歩道の幅員2,5メートル以上です。このような項目で点数が高い道路から電線類地中化を進めていきます。

■京都市と電線管理者とが協力していく！

電線管理者が電線類地中化に協力する条件は、国の方針に沿っているかと電力の需要の安定感だそうです。電線管理者は電線類地中化をすることによる利益がありません。逆にコストと手間がかかり非協力的です。そのため京都市では電線管理者と協力して電線類地中化を進めていきたいと考えているそうです。

今回、京都市役所に取材をさせていただき、自治体は国の方針に従っている、つまりは電線類地中化に前向きであるという印象も残りました。住民が興味を示さず、動かなければ電力会社はもちろんのこと、行政も動いてくれません。行政の電線類地中化の採点基準に『住民の強い要望・熱意』という項目があるくらい大きなことなのです。

【東京電力、東京都、東北地方整備局、大震災の影響でどうする電線類地中化！？】

先月に引き続き東日本大震災の影響で電線類地中化は遅れてしまうのかどうかについて電話取材を行いました。

■東京電力・配電部・配電企画グループ

現時点では、東日本大震災の前後で電線類地中化に使う予算を変更する予定はない。ただし、予算は年末、もしくは年明けに作成されるので正確には分からない。予算については道路管理者が関係者の合意を経て計画し、地域計画に基づき作成されたものなので、公表できないとのこと。

(質問)新聞の記事には電線類地中化は進められないと書いてありましたが、本当ですか？

この件は行政が回答したものにに基づき作成されたものなので、申し上げる状況にないとのこと。

■東京都・建設局

東日本大震災の前後で防災の面から考えても電線類地中化の計画に変更はない。予算は、去年は200億円弱であり、今年は200億円強。

■国土交通省・東北地方整備局

(質問)震災を通じて電柱は無かった方がよかったですか？

阪神大震災の後に震災対策を行っていたので地震で電柱が倒れることは少なかった。ただ、津波で流された車両などが電柱を倒すことがあり、そこから復興作業に影響がでた。電柱は無いに越したことはない。

(質問)復興の際に電線類地中化を行なっていきますか？

ただ復興するだけでなく、“今までより良い街”にしたいと思う。もし電線類地中化ができれば、現在交通力が少ないので労力も予算も少なめでできるので良い機会だと思う。

東京電力も、東京都庁も、東北地方整備局も震災の影響で電線類地中化の整備に影響はなく、予算も計画も変更はないとのこと、安心しました。今回の大震災を契機に“減災”という考え方が、さらに浸透すると思われます。この機会に、被災地をはじめ電線類地中化がさらに進むことを祈念します。



「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事、見直してほしい事などがありましたら、t.saijo0929@gmail.comまで気軽に連絡下さい！
会員の皆様で電線地中化の素晴らしさを広めていきましょう！！

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>



当 NPO ではメールマガジンも配信しており、電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！

→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>